

クラブハウスの建設

問 本市が、V・ファアレン長崎のクラブハウス建設に取り組み、子ども達の夢を形にするような考えはないか見解を伺いたい。

答 V・ファアレン長崎は、選手の移動時間が余りかからない場所での練習場の確保を望んでおり、諫早市がV・ファアレン長崎のホームスタジアムである県立総合運動公園陸上競技場の近くに練習場の確保を検討していると言っている。また、クラブの寮が諫早市内にあることを勘案すると、クラブハウスは試合会場などの活動拠点の近くにあることが、選手の立場からも望ましいと考える。したがって、本市としては、V・ファアレン長崎が安定して活躍するためには、集客の増を図ることが極めて重要であると考えているため、この方策を進めることで支援していきたい。

公明党

災害廃棄物の処理等に関する

協定の締結

問 大規模災害時において、早急な対策を必要とするのが、環境衛生の確保

である。県と長崎県環境整備事業協同組合との間で災害廃棄物の処理等に関する協定を締結したと聞くが、本市でも関係団体と締結する考えはないか伺いたい。

答 災害時においては、長崎市地域防災計画に基づき、災害ごみやし尿などの処理業務を適切に行う必要がある。災害ごみの収集運搬は、車両などの借り上げまたは委託等により行い、し尿処理は、原則、一般財団法人クリーンながさきが収集運搬し、不足する場合には業者からの車両借り上げまたは委託等の方法による補完体制を組むこととしている。災害廃棄物の処理等については、社団法人長崎県産業廃棄物協会と協定を締結しており、し尿収集業者の協同組合からも申し出があつているため、内容を精査し締結したい。

環境モデル都市指定に向けた 取り組みの現状と課題

問 内閣府が地域活性化政策の一つとして選定している環境モデル都市の指定に向けた取り組みの現状と課題について伺いたい。

答 平成24年度の環境モデル都市の公募の際には、「ながさきエコライフの浸透と拡大」、「市民活力を活かした市

民ファンドの創設」、「エコタウン構想の進展」の三つの柱を中心に提案書を提出した。本市は、最終ヒアリングまで残ったものの、提案を全体的に見ると、具体的な取り組みがこれからといった課題があるとして認定には至らなかったため、新たに「ながさきソーラーネットワークプロジェクト」を掲げ、市民・企業・行政の連携のもと、市民還元型メガソーラーの整備などをしっかりと具現化していくことで、環境モデル都市が求める低炭素社会の実現につなげていきたい。



▲メガソーラーイメージ

中間的就労支援の取り組み

問 国が平成27年度に生活困窮者自立支援制度をスタートすることを前提に、モデル事業として中間的就労支援を平成26年度から積極的に取り組んでいく考えはないか伺いたい。

答 今国会において審議中の生活困窮者自立支援法案は、福祉事務所を設置

している自治体が、就労その他の自立に関する相談に対応するなど、生活困窮者を早期に把握、支援し、困窮状態からの脱却を図ろうとするものである。この制度の施行に先立ち、平成25年度、26年度に、国の補助のもとに、希望する自治体でモデル事業の実施が可能となっているが、中間的就労支援のモデル事業の実施に際して国が示すこととなつていない事業実施のガイドラインが示されておらず、実施可能な団体や企業の実態把握ができないため、今後、国の動向を見極めながら対応していきたい。

自由民主党

長崎市宮弓道場の整備

問 長崎市宮弓道場の現状と利用実績及び高校総体の弓道競技が開催できるような施設の改修を行ってほしいが、見解を伺いたい。

答 同弓道場は、敷地面積が2,900平方メートルで、的までの距離が60メートルの、4人が同時に競技できる遠的場と、的までの距離が28メートルの、6人が同時に競技できる近的場の2種類がある。施設の過去3年平均の利用状況は、中学・高校及び一般利